

サイエンスワールドでの実験体験

12月6日、2学年生野菜・果樹専攻の学生19名は生物工学の授業の一環で瑞浪市にある「サイエンスワールド」へ行きました。

自分のDNAを口の内側の細胞から抽出し、PCR法で特定の遺伝子を増幅する「DNA型鑑定入門」とDNAを制限酵素で切るといふ遺伝子鑑定の基本的な実習「科学捜査入門」の2種類の実験を1日体験しました。

学生たちは、白衣を着用してマイクロピペットを片手に、なれないピペティングの練習をし、失敗してもめげずにやり直しをしながら実習に取り組んでいました。また、最後の電気泳動を行うために、アガロースゲルにDNA試料を注入する場面は、皆真剣な眼差しでした。

サイエンスワールドの先生がおっしゃっていた「結果が得られなかった場合こそ考察しよう。いろいろな観点から考察して原因を究明することは、実験が成功した場合より得るものが多い」といふお話は、学生にとって非常に重要なことだと思いました。実験の醍醐味が体験できた1日でした。



恒温槽での加温処理を見守る学生



マイクロピペットを用いて
作業中の学生



電気泳動の準備をする学生

